



# 日本植物病理学会ニュース 第37号

(2007年2月)

## 【今後の学会活動予定】

### 1. 平成19年度大会開催予定

日 時：2007年3月28日（水）～30日（金）  
 場 所：宇都宮大学 峰キャンパス（〒321-8505  
 宇都宮市峰町350 TEL：028-649-5449  
<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/>)  
 問合せ先：平成19年度日本植物病理学会大会事務局  
 〒321-8505 宇都宮市峰町350  
 宇都宮大学農学部植物病理学研究室内  
 （奥田誠一・夏秋知英）  
 TEL：028-649-5449 または -5450  
 FAX：028-649-5401  
 E-mail: taikai2007@cc.utsunomiya-u.ac.jp

#### 大会プログラム担当：

〒305-8666 茨城県つくば市観音台3-1-1  
 中央農業総合研究センター  
 （プログラム委員長 高橋賢司）  
 TEL：029-838-8835（直通）  
 FAX：029-838-8837  
 E-mail: kenta@affrc.go.jp

### 2. 平成19年度部会開催予定

- (1) 北海道部会（開催案、6月に正式決定）  
 日 時：2007年10月  
 場 所：北方圏センター  
 （札幌市中央区北3条西7丁目、道庁別館）  
 連絡先：〒069-1395 北海道夕張郡長沼町東6線北15号  
 北海道道立中央農業試験場 堀田治邦
- (2) 東北部会  
 日 時：2007年9月20日（木）・21日（金）  
 場 所：秋田県立大学  
 連絡先：〒010-0195 秋田市下新城中野字街道端西241-7  
 秋田県立大学生物資源学部植物保護学研究室  
 古屋廣光（E-mail: furuya@akita-pu.ac.jp）

### (3) 関東部会

日 時：2007年9月13日（木）・14日（金）  
 場 所：東京農業大学厚木キャンパス  
 連絡先：〒243-0034 厚木市船子1737  
 東京農業大学農学部植物病理学研究室

### (4) 関西部会

日 時：2007年10月6日（土）・7日（日）  
 場 所：岐阜大学応用生物科学部  
 連絡先：久保田真弓（運営責任者）  
 E-mail: mayumik@gifu-u.ac.jp

### (5) 九州部会：未定

### 3. 談話会・研究会

#### (1) EBC 研究会ワークショップ2007

日 時：2007年3月27日（火）12：45～18：30  
 場 所：宇都宮大学農学部3101教室  
 連絡先：東京農業大学農学部植物病理研究室  
 根岸寛光（E-mail: negishi@nodai.ac.jp）

#### (2) 第10回記念バイオコントロール研究会

日 時：2007年3月31日（土）9：00～17：00  
 場 所：宇都宮大学峰キャンパス農学部3101教室  
 （宇都宮市峰町350 TEL：028-649-5449）  
 連絡先：〒321-0943 宇都宮市峰町350  
 宇都宮大学農学部植物病理学研究室  
 夏秋知英  
 TEL：0286-49-5449  
 E-mail: natsuaki@cc.utsunomiya-u.ac.jp  
 〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1080  
 栃木県農業試験場 石川成寿  
 TEL：0286-65-1241  
 E-mail: ishikawas04@pref.tochigi.jp

#### (3) 第17回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム

日 時：2007年3月31日（土）9：30～16：30  
 場 所：宇都宮大学峰キャンパス大学会館  
 （多目的ホール）

連絡先：〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町1-1-1  
 東洋大学生命科学部 藤村 真  
 TEL：0276-82-9216 FAX：0276-82-9801  
 E-mail: fujimura@itakura.toyo.ac.jp  
 <耐性菌研究会 HP>  
<http://jns.ixla.jp/users/taiseikinken863/index.html>

#### (4) 第43回感染生理談話会

日時：2007年8月9日（木）13：00～  
 11日（土）11：30

場所：京都府立大学大学会館（〒606-8522  
 京都市左京区下鴨半木町（大学構内）  
 ホームページ <http://www.kpu.ac.jp/>）

テーマ：「植物-病原微生物の相互作用のダイナミズム」

連絡先：〒606-8522 京都府京都市左京区下鴨半木町1-5  
 京都府立大学大学院農学研究科植物病理学  
 研究室 代表 久保康之  
 （事務担当 津下誠治，辻 元人）  
 TEL/FAX：075-703-5614  
 E-mail: s\_tsuge@kpu.ac.jp

#### 【共催その他】

##### (1) 第8回植物病原菌類談話会

日時：2007年3月30日（学会最終日）18：00～21：30  
 （閉会式終了30分後より）

場所：宇都宮大学農学部3101教室（学会と同じ会場）

連絡先：幹事長 岐阜大学流域圏科学研究センター  
 景山幸二  
 TEL：058-293-2063  
 E-mail: kageyama@cc.gifu-u.ac.jp  
 幹事（第9回コーディネーター）  
 三重大学大学院生物資源学研究科  
 中島千晴  
 TEL：059-231-9638  
 E-mail: chiharu@bio.mie-u.ac.jp

#### 【関連国際学会】

##### (1) 15<sup>th</sup> International Reinhardsbrunn Symposium - Modern Fungicides and Antifungal Compounds （ラインハーツブルンシンポジウム）

日時：2007年5月6日～10日

場所：Friedrichroda, Germany

連絡先：Prof. Dr. H. W. Dehne

E-mail: Reinhardsbrunn@uni-bonn.de

##### (2) 3<sup>rd</sup> Asian Conference on Plant Pathology （第3回アジア植物病理学会）

日時：2007年8月20日～23日

場所：Gadjah Mada University, Yogyakarta, Indonesia

連絡先：<http://www.3rdacpp.com/>

##### (3) XVI International Plant Protection Congress （第16回国際植物保護会議）

日時：2007年10月15日～18日

場所：Scottish Exhibition & Conference Centre,  
 Glasgow, Scotland, UK

連絡先：<http://www.bcpc.org/IPPC2007/>

#### 【学会活動状況】

##### 1. 部会活動状況

###### (1) 部会開催状況

###### ①北海道部会

日時：2006年10月19日・20日

場所：北海道大学農学部（札幌市）

###### ②関西部会

日時：2006年10月28日・29日

場所：京都大学吉田キャンパス（京都市）

###### ③九州部会

日時：2006年10月31日・11月1日

場所：熊本テルサ（熊本市）

###### (2) 部会開催報告

###### ①北海道部会

平成18年度北海道部会は10月19日、20日の2日間にわたり、北海道大学農学部大講堂を会場として開催された。参加者は79名であった。19日は北海道部会第202回談話会「植物病原菌の系統分化と多様性」が開催され、産業総合研究所 星野 保氏による「北極圏の雪腐病菌—雪腐黒色小粒菌核病菌 (*Typhula ishikariensis*) の種分化—」、同じく産業総合研究所 齊藤 泉氏による「雪腐病を起こす低温性 *Sclerotinia* の種と種内分化」および北海道大学大学院 内藤繁男氏による「*Rhizoctonia* spp. の遺伝的多様性に関する研究の現状と諸問題」の3講演に関して活発な討議が行われた。

20日は研究発表会および総会が開催された。講演数は21題であった。内訳はウイルス・ウイロイド関係が11題、細菌病が1題、糸状菌病関係が9題で、活発な質疑応答が行われた。昼に開催された総会では庶務報告・会計報告が承認されたのち、部会長上田一郎氏の任期満了にともない次期部会長として北海道中央農業試験場の萩田孝志氏が選出された。（秋野聖之）

## ②関西部会

平成18年度関西部会は10月28日、29日の両日にわたり、京都大学吉田キャンパスにて開催され、参加者は約250名であった。総講演数は75題で、内訳は糸状菌病関連50題、植物保護関連6題、細菌病関連10題、ウイルス病関連9題であった。部会運営は、開催地委員長の奥野哲郎氏、幹事の三瀬和之氏、実行委員の田中千尋氏を中心に、関係各氏のご協力により極めて周到に準備されており、会期全般を通じて活発な質疑応答が行われた。一日目の講演発表終了後、京都大学生協吉田食堂にて懇親会が盛大に行われ、秋の京都の風情を感じさせるすばらしい演出の中、会員相互の親睦を深めることができた。部会役員会は、第一日目の午前中に京都大学吉田キャンパス内で開催され、瀧川雄一事務幹事の進行で行事、役員交代、庶務・会計報告、次年度の開催計画等が審議・了承された。平成19年度の関西部会長選挙の結果、次期部会長には白石友紀氏が選出された旨の報告があり、了承された。また、平成19年度の部会は、開催地委員長百町満朗氏、幹事久保田真弓氏により、岐阜大学で開催される旨了承された。さらに、平成20年度の大会が松江市で開催されることが内定した旨の紹介があった。これらの審議・了承事項は、同日午後の部会総会で報告され、了承された。総会終了後、一般講演に先立ち、部会長講演（露無慎二）「分子植物病理学で病気は防げるようになるのか？」があった。（露無慎二）

## ③九州部会

平成18年度の九州部会は10月31日、11月1日の2日間にわたって、熊本テルサ（熊本市）で開催され、参加者は約100名であった。九州部会はこれまで九州農業試験研究機関協議会（九農研）との共催であったが、本年度から初めて九州病害虫研究会との共催で開かれることになった。講演数は23題で、内訳はウイルス・ウイロイド病関係10題、菌類病関係8題、防除薬剤関係4題、細菌病関係1題で熱心な討議が行われた。昼食時に開催された幹事会で役員交代、次年度の開催計画等が審議された。その結果、平成19、20年度の九州部会長に佐賀大学の大島一里氏が選出され、平成19年度の部会は鹿児島県で開催されることになり、

幹事会の後に開催された総会において報告、了承された。二日目には第31回九州部会シンポジウムが開催され、佐賀県農業試験研究センターの稲田稔氏による「イチゴ炭疽病菌 (*Glomerella cingulata*) の伝染と防除対策」、南九州大学園芸学部の山口健一氏による「植物病原菌を利用した雑草の制御」、ならびに九州沖縄農業研究センターの上田重文氏による「トマト黄化葉巻ウイルスと媒介昆虫タバココナジラミとは」の3つの話題提供があり、活発な論議が行われた。（上運天博）

## 【学会ニュース編集委員コーナー】

本ニュースは身近な関連情報を気軽に交換することを主旨として発行されております。会員の各種出版物のご紹介、書評、会員の動静、学会運営に対するご意見、会員の関連学会における受賞、プロジェクトの紹介などの情報をお寄せ頂きたいと思っております。

投稿宛先：〒170-8484 東京都豊島区駒込1-43-11

日本植物防疫協会ビル内

学会ニュース編集委員会

FAX: 03-3943-6086

または下記学会ニュース編集委員へ：

松山宣明、夏秋知英、石井英夫、竹内妙子、小坂橋基夫、各委員宛

---

## 編集後記

学会ニュース第37号をお送りします。新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方のご健康とご発展をお祈り致します。本号では北海道部会、関西部会および九州部会の開催報告、それに平成19年度に開催予定の大会、部会や談話会・研究会、国際学会などのご案内を掲載致しました。学会ニュースには書評、国内外の他学会のニュース、学会に対するご意見なども掲載することになっておりますので、ご遠慮なくお申し越し下さい。（松山宣明）

---